

ご長寿おめでとうございます

加藤政子さん(蛇持)が100歳の誕生日を迎えられ、1月24日(月)に大橋孝町長から家族へ長寿のお祝い状とお祝い金が贈呈されました。

加藤さんは扇舞の先生をしており、以前は旦那さんの詩吟に合わせて踊っていたそうです。今は、娘さんに受け継がれた扇舞を見て楽しんでいます。



今津富子さん(柏尾)が100歳の誕生日を迎えられ、2月7日(月)に大橋孝町長から家族へ長寿のお祝い状とお祝い金が贈呈されました。

今津さんは昔から書を趣味にしている、正信偈の掛け軸をご自身でしたため、お子さん2人に贈られたこともあるそうです。



～第71回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト受賞者～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。次代を担う全国の小中学生に、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことをもとに、犯罪や非行のない地域社会づくり、犯罪や非行などに関して考えたこと、感じたことを作文に書くことを通して本運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

応募作品については、各地区推進委員会の選考を経て、岐阜県推進委員会で審査した結果、入賞作品が決定いたしましたのでご紹介します。

■小学生の部

岐阜県推進委員会委員長(岐阜県知事)賞

「相手の立場に立って」 養老小学校 6年 酒井 りの

インターネットやSNSの誹謗中傷をきっかけに、なぜそのような事が起こるのかを自分の体験とつなげて書かれており、自分の体験から「やられた人」「やった人」の立場に立って考え、みんなで話し合い、解決に向けて行動できたことは今でも心の支えとなっているとつづりました。

■中学生の部

岐阜県新聞社賞

「公正・公平と向き合う」 東部中学校 2年 古川 美貴

「犯罪者が身近にいたら私は受け入れることができるだろうか」と自分に問いかけ、受け入れるためにはどうすればよいかを考えて書かれており、公正・公平な心を持つことが大切なことに気づき、共に社会を歩んでいこうとする願いが伝わってきます。